

視聴覚教育

NO. 458

発行日

R2. 7. 1

編集・発行

岡崎市 A V L

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる！？ Cookie (クッキー)

一時的にユーザー情報を端末に保存するファイルのこと。IDやパスワード、閲覧履歴などが保存され、情報を入力する手間が省けるなどの利点がある。しかし、個人情報漏えいする可能性もあるため、サイトごとに設定を確認するようにしたい。

アナログとデジタルのつばさ

現職研修委員会学習情報部長

小田 哲也

運動場に出ると、どこからともなく妖精たちが現れて、「二重跳びができるようになったよ」

「ホウセンカが大きくなったよ」と、マスクがはじけそうな勢いで飛びまわる。学校に子供たちがいて、教師と子供が、距離を近づけて学ぶことがいい。学校が再開されて以来、私たち教師は、改めて、そして強く感じている。この再会の瞬間のために、縄跳びや書写の動画を作成してホームページへ登録し、また教材集を作成しポスティングして、しつかり準備してきた。

教師なら、子供たちの学びを止めてはいけないという思いがある。特に岡崎の教師は「止めない」手立てを知っている。教室のテレビや校内放送、パソコン利用、映像編集、デジタル教材利用など、本市の先進的な情報教育とICT利用の歴史が、教師の中に生きているからだ。

教育委員会は、さらに先を見据える。学習の充実や第二波を想定して、オンライン学習のIDを配付し、マイクロソフトアカウントも配付する予定である。岡崎版GIGAスクールによ

り、タブレット端末を学校と家庭で利用できれば、学びの連続・連携性が確保されていく。

昼放課に三年生が、タブレット端末を使って中庭で育てている野菜の観察をしていた。きゅうりの葉を写真に撮って拡大し、小さな毛(トライコーム)がたくさんあることを友達と話している。隣では、計測アプリを使って、三日月のようにくるんと曲がつたきゅうりの長さを計測して、朝の計測値からの伸びに驚いている。

遅れていた日本のICT利用が、新型コロナウイルス対応で注目を浴びた。多種・多様な機器の整備が進み、教師と子供の情報活用能力は、一段と伸びていくだろう。するとタブレット端末のつるつるの平面を触るだけでは、学びにはならないこともわかってくる。機器の台数もそろってきたことで、アナログとデジタルの本質を活かし、どの機能をどのように組み合わせ利用するのか、どうすれば効果的な利用ができるかといった議論のベースができてくる。

原始的でアナログな人の結びつきと未来的なデジタル機器があれば、知恵と協働により叡智が深まる。Society5.0で活躍する「新しい価値を創造できる人材」が岡崎から羽ばたいていく。

Ⅱ視聴覚教育あれこれⅡ

●パナソニック教育財団による実践研究助成

「パナソニック教育財団実践研究助成」は、視聴覚・情報通信メディアを効果的に活用し、教育課題の改善に取り組む実践的な研究計画について助成されるものです。今年度の岡崎市における実践研究助成先は次のとおりです。

第46回実践研究助成先

【特別研究指定】

・羽根小学校 「プログラミング的思考育成から始める創造的な学び」

●各種実践研究助成の紹介

・東書教育賞 (10月20日締切)

・パナソニック教育財団実践研究助成 (例年1月下旬締切)

●各種コンクールの紹介

・アジア国際子供映画祭 (例年8月末締切)

・IPA「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」 (9月18日締切)

・ICT夢コンテスト (9月30日締切)

・ふるさと岡崎メディアコンクール (11月27日締切)

・パナソニックKWN日本コンテスト (1月12日締切)

・日本こども映画コンクール (昨年度実施予定のものを今年度に延期)

・ジェイアール四国コミュニケーションウェア「コラボミュージアムCity作品づくりコンテスト」 (例年1月中旬締切)

・RISO「プリントコミュニケーション」 (例年3月31日締切)

・先生方ご自身の実践はもちろん、子供の作品を積極的に応募してみたいかがでしょうか。

実践報告Ⅱ

手軽に響きの移り変わりを感ずる

井田小学校 岡田 淳也

六年音楽科で、児童がより美しい響きの旋律について考えるために、岡崎市プログラミング学習モデルカリキュラムを参考に、本実践に取り組んだ。

本実践では、「キューブきつず」を用いて、音階の編集と演奏をパソコン上で行った。そうすることで、楽器を演奏することが苦手な児童も手軽に旋律を作ることが出来る。はじめに、児童は美しい響きを目指して、伴奏の和音を基にそれぞれ音符を上下させた。誰もが、自分の思いに合う音を探して旋律作りに取り組んだ。パソコン上でボタンを押せばすぐに自分が作った旋律が再生されるため、児童は編集と演奏を繰り返しながら、自分なりの旋律表現を作り出すことができた。その後、児童は、「同じ音をだんだん増やしていこう」「高い音の山を作るう」など、前時までに学習した曲の山場になる旋律へ近づけるために、何度も試行錯誤した。ときには周りの児童と聞き比べ「ここの音は、和音に含まれていないから、音を変えたほうがいい」とアドバイスし合う姿もあった。



完成した旋律を、学級で鑑賞し合い、いろいろな響きを感じることができた。演奏の実行と編集が容易にできるため、音楽に親しみをもち、自分の思いを込めた旋律作りに取り組むことができた。

レッツ・トライ！ICTⅡ

今回紹介するICTアプリ「Clips（クリップス）」

Clips は、ビデオ編集アプリで、タブレット端末（iPad）にインストールされている。

Clips のいちばんの魅力は、撮影と編集がタブレット端末一台で完結できる点である。さらに魅力的な要素に編集のしやすさがある。

まず、撮影した動画のトリミングや各クリップの移動を容易に行うことができる。例えば、一本の映像クリップが長すぎる場合は、ハサミアイコンをタップし、タイムラインに表示される矢印を操作すると、すぐに適正な長さに編集することが出来る。次に、複数のカットがある動画で、クリップの順番を変更したい場合は、該当のクリップをタップし適正な場所へ移動させるだけで、編集することが出来る。さらに、演出機能も豊富で、「ポスター」機能では、様々な演出効果のある映像を挿入することができる。また、「フィルター」機能では、コミック風や水彩画風に加工することも可能である。あわせて、既存のライブラリーにあるフリー素材の動画も使用できる。

文化祭などの各種行事で、動画作成をする際にClipsを使用すれば、今まで以上に短時間で作成可能である。動画編集が苦手な方や子供にも簡単にできるので、ぜひ試していただきたい。



（福岡中学校 天野 泰国）

ライブライブラリーだよ

●教材の紹介『感染症について学ぼう！』

全世界に感染が拡大し、猛威をふるう新型コロナウイルス。今、このような感染症に対する知識が教員、児童生徒に求められます。視聴覚ライブラリーにある教材の中から、参考になる教材を3本紹介します。

・「調査報告 新型インフルエンザの恐怖」

DV 318（53分）
DV 546（18分）



平成22年頃に流行した新型インフルエンザを取り上げています。感染リスク、感染拡大が社会にもたらす混乱、いずれも今世界中で実際に起きていることと非常に似ており、実感を持って学べるのではないのでしょうか。

・「新型インフルエンザ 対策編」DV 547（20分）



あくまでも新型インフルエンザに対する対策であるため、全てが当てはまるわけではありませんが、マスクのつけ方、手洗いは新型コロナウイルス感染症予防においても必要であり、参考になります。気になるタイトルがありましたら視聴覚ライブラリーまで御連絡ください。

連絡先 2316789